

2 補助事業計画書

事業者名	社会福祉法人東根福祉会		
事業所名	特別養護老人ホーム白水荘【事業所番号：0671700185】		
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	定員数	100名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] Comuoon mobile type WSG Comuoon mobile type HS [導入時期] 令和5年1月30日 [導入台数] 2台		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要 (現在の問題点・ 導入台数の妥当性・職員と の導入意義の共有)	<p>今回導入予定の、介護ロボット機器「コミュニケーション」は、聴覚機能が低下した利用者との音声コミュニケーションを補助する機器で、難聴の利用者との音声コミュニケーションやレクリエーション、リハビリテーションをする際に、介護員と高齢者の双方の負担を軽減することができる機器である。</p> <p>これまでは、難聴の利用者とコミュニケーションを図る際は、介護員が大きな声を出したり、筆談等で対応をしており、何度も言い直しをして時間がかかったり、大声で利用者に威圧を与えてしまうことがあったが、機器を導入することで、介護員の介護負担軽減や利用者の精神的負担の軽減が期待できる。</p> <p>また、新型コロナウイルス禍の面会制限下でも、2台導入することで、マスク越し、ガラス越し、パーティション越しでも、双方向からのコミュニケーションが可能になり、感染対策を行いつつ、良質なコミュニケーションによる、利用者、家族、職員間の信頼関係の向上が期待できる。</p> <p>導入後は、難聴に関して理解する研修を定期的実施し、当該ロボット使用による利用者のQOLの変化を把握・記録し、更なる介護サービスの向上と介護員の身体的、精神的負担の軽減に努める。</p>		
機器を導入することにより達成する目標(機器導入の翌年から3年間、年度毎)	<p>○導入後 (翌年) 1年目 機器の使用方法や効果について、全職員が理解し、使用することができる。</p> <p>○2年目 認知症の進行リスクとなる難聴を早期に発見し、コミュニケーションの機会を増やすことで、利用者にとって安心な生活環境を整える。</p> <p>○3年目 介護員の身体的・精神的負担を軽減し、離職率の低下を目指す。</p>		

<p>期待される効果等</p>	<p>○導入後（翌年）1年目 難聴の高齢者とコミュニケーションを図る際、「大きな声を出すこと」や「何度も言い直すこと」がなくなり、介護負担が軽減すると共に、利用者の精神的負担が軽減する。ガラス越しやパーテーション越しでも、コミュニケーションが可能となり、感染対策にもなる。</p> <p>○2年目 認知症と難聴のある利用者に使用し、作業指示が明確に入ることによって、介護員との意思疎通がスムーズになり、より安心して過ごせる環境作りと、最適な音声での対応が可能となる。</p> <p>○3年目 難聴の利用者の声かけやレクリエーションなどに効率的に対応する事で、介護員の言い直しや大声による負担を軽減し、介護時間を短縮することで、離職率や休職率の低下が期待できる。</p>
<p>効果検証の方法(効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)</p>	<p>機器の使用状況を記録し、使用した場合、しない場合の介護時間比較を行う。また、面会での使用状況や回数を記録する。</p> <p>利用者の使用時の反応「聴き取りやすさ」「うなずきやまばたきの回数」「表情」などを記録し、精神的な負担が軽減できているか検証する。</p> <p>介護員の満足度を記録し、導入前後の離職率・休職率を比較する。</p>

3 事業・導入スケジュール

期間（予定）	内 容	経費概要	備考
令和4年11月7日 ～令和4年11月30日	業務状況の分析 問題点の洗い出しと難聴及び認知症利用者の選定		
令和4年12月1日 ～令和4年12月31日	導入担当者・チーム体制整備 （導入・活用・効果検証の各担当者）		
令和5年1月1日 ～令和5年1月31日	実際に機器を使用する者（介護員等）の意見聴取		
令和5年2月1日 ～令和5年2月28日	機器導入及び職員の機器使用方法の理解及び研修計画・マニュアル整備		
令和5年3月1日 ～令和5年3月31日	導入によるケア方法の見直し		
令和5年4月1日 ～令和6年2月29日	効果検証の実施（1年目）		

令和6年3月1日 ～令和6年3月31日	効果検証の結果に基づいた業務改善の取組検討（1年目）		
令和6年4月1日 ～令和7年2月28日	効果検証の実施（2年目）		
令和7年3月1日 ～令和7年3月31日	効果検証の結果に基づいた業務改善の取組検討（2年目）		
令和7年4月1日 ～令和8年2月28日	効果検証の実施（3年目）		
令和8年3月1日 ～令和8年3月31日	効果検証の結果に基づいた業務改善の取組検討（3年目）		

※スケジュール作成の留意点について

スケジュールにおける導入・活用・効果検証にあたり、実施方法、体制づくり、業務の見直し等について、以下の点を反映させること

ア業務の状況分析・問題点の洗い出し、イ機種選定・導入計画の検討、ウ導入担当者・チーム体制整備（導入・活用・効果検証の各担当者）、エ実際に機器を使用する者（介護職員等）の意見聴取、オ機器導入時期、カ職員の習熟及び教育・研修計画（マニュアル整備等）、キ導入によるケア方法の見直し予定、ク効果検証の実施、ク効果検証の実施、